

平成20年度 第1回春日井市地域公共交通会議資料

「かすがいシティバスの見直し案について」

日時：平成20年7月3日（木） 13：30～

場所：春日井市役所 南館 議会棟 4階 第3委員会室

Contents

I	基本事項	1
I-1	かすがいシティバスの見直しに向けての方針	1
I-2	見直し案	2
II	新規路線の設置	3
II-1	新規路線の設置	4
視点1	高齢者の多い公共交通空白地域を優先	4
視点2	アクセスニーズの高い施設を目的地に設定	5
視点3	住宅地と目的地を無駄なく結ぶ路線を設定	5
II-2	新規路線の設定案	6
A	①北西部（牛山町、新開町など）の特徴	6
A	②新規路線 牛山線（仮称）の路線案	7
B	①南西部（上条町、松河戸町など）の特徴	8
B	②新規路線 道風線（仮称）の路線案	9
III	既設路線の見直し	10
III-1	既設路線の見直し	11
視点1	重複する路線を統合	11
視点2	市役所・市民病院を結節点として設定	12
視点3	既設路線の運行サービス水準を維持	13
III-2	既設路線の見直し路線案	14
A	見直しイメージ	14
B	見直し路線案	15
IV	かすがいシティバスの見直し案のまとめ	16
IV-1	かすがいシティバスの見直し案のまとめ	17
IV-2	見直し後のサービス水準の考え方	18

I 基本事項

I-1 かすがいシティバスの見直しに向けての方針

(平成19年度第2回会議提案)

課題

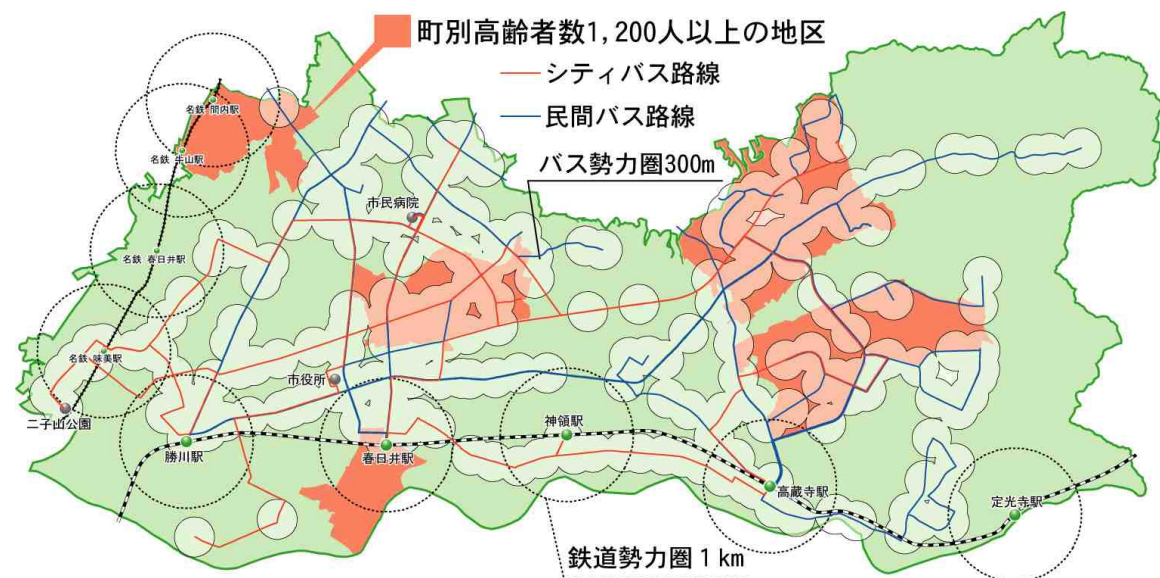
■ 高齢者等の移動手手段の確保

○高齢者の利用が多い実態を踏まえ、今後も高齢者の移動手手段として必要である。

■ 公共交通空白地域の解消

○鉄道・バス勢力圏外となる公共交通空白地域がある。

○高齢者が多く住む公共交通空白地域がある。



■ 使いやすい運行ダイヤの編成

○運行本数の増便、朝早くからの運行等の要望が多い。

■ シティバスで重複している路線

○病院循環線と施設連絡線では、区間が重複しているところがある。

見直し方針

方針1 公共交通空白地域を解消

- ・ 鉄道駅から1 km、バス停から300mの勢力圏外の公共交通空白地域の対応。
- ・ 高齢者の多い公共交通空白地域を優先。

方針2 既設路線の使いやすさを向上

- ・ 鉄道駅、医療機関、公共施設、商業施設などの目的地となる施設に接続する路線を設定。
- ・ シティバス利用の実状に合ったダイヤを設定。

方針3 既設路線の運行効率を向上

- ・ シティバス同士の重複区間の解消。
- ・ 効率的な運行を可能とする路線に見直し。

具体的な見直し案の検討・協議

見直しの方針

方針 1

公共交通空白地域を解消

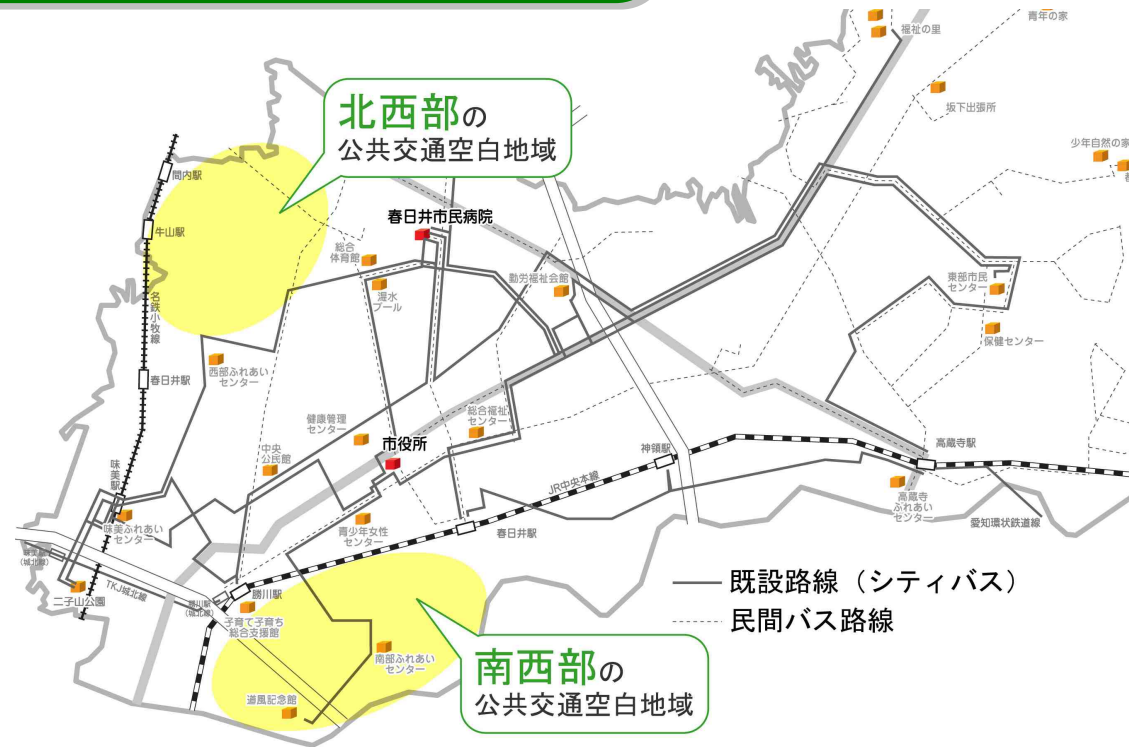
方針 2

既設路線の使いやすさを向上

方針 3

既設路線の運行効率を向上

● 新規路線の設置



視点 1

高齢者の多い公共交通空白地域を優先

視点 2

アクセスニーズの高い施設を目的地に設定

視点 3

住宅地と目的地を無駄なく結ぶ路線を設定

p3

● 既設路線の見直し



視点 1

重複する路線を統合

視点 2

市役所・市民病院を結節点として設定

視点 3

既設路線の運行サービス水準を維持

p10

Ⅱ 新規路線の設置

II-1 新規路線の設置

視点1 高齢者の多い公共交通空白地域を優先

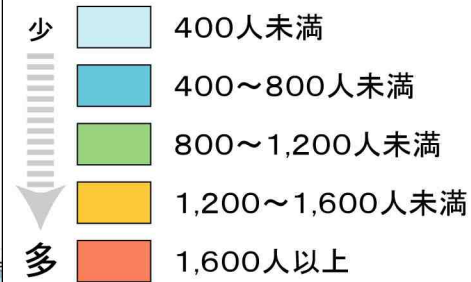
○公共交通空白地域のうち、高齢者人口の多い「北西部」「南西部」を対象に、新規路線を検討。

A 北西部・名鉄小牧線沿線の牛山町や新開町など

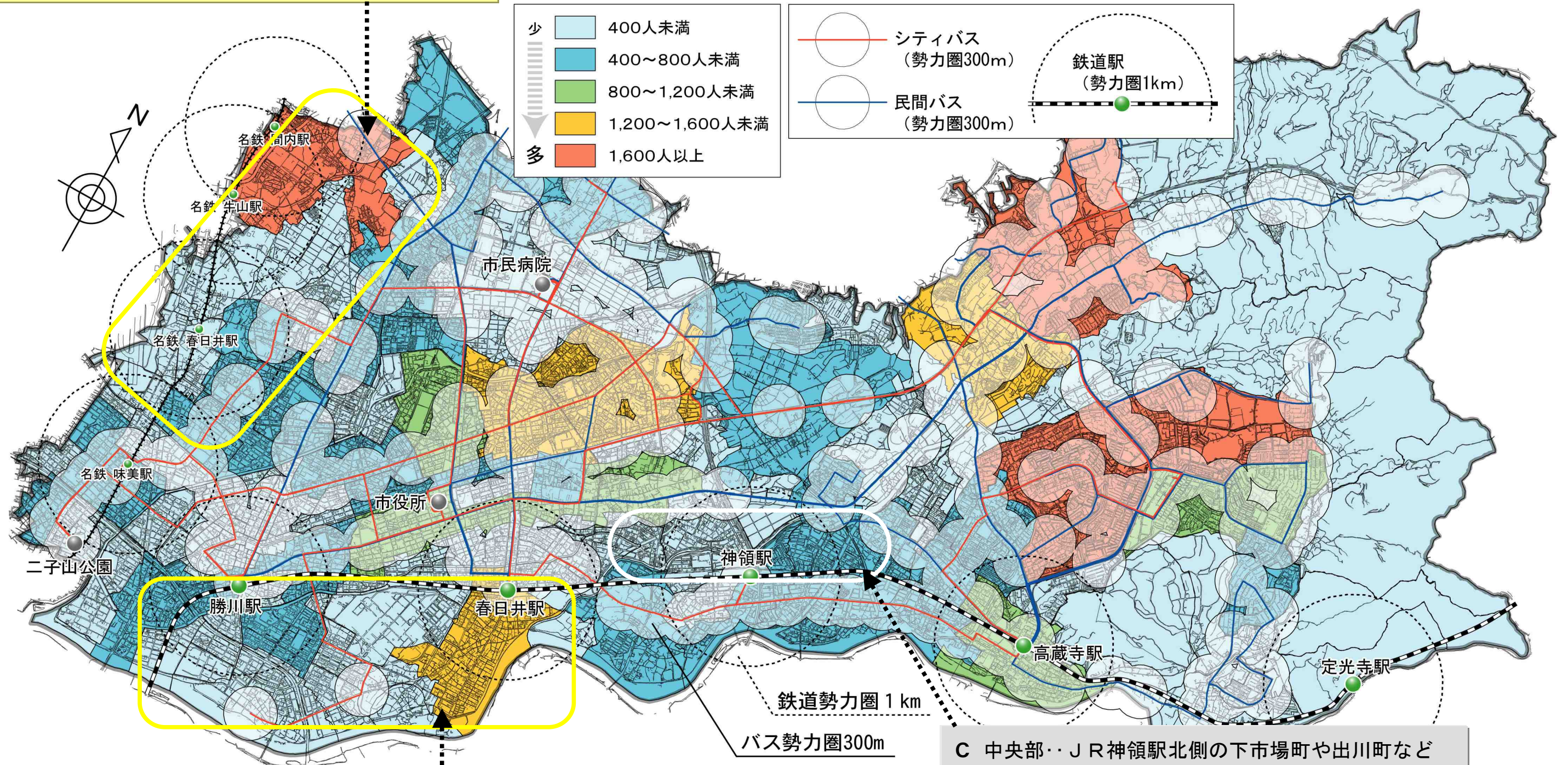
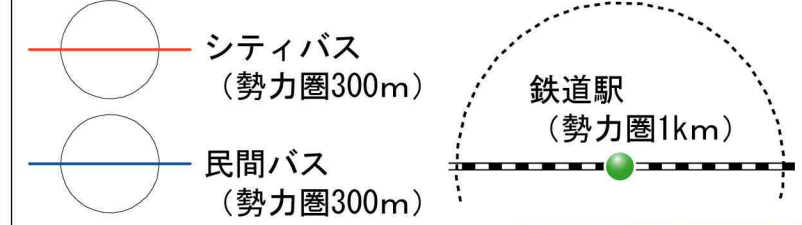
※ 65歳以上の高齢者人口データ：平成19年10月1日現在

※ 地図データ作成年度：平成14年度

町別高齢者数 凡例



バス・鉄道 凡例



B 南西部・JR中央本線南側の上条町や松河戸町など

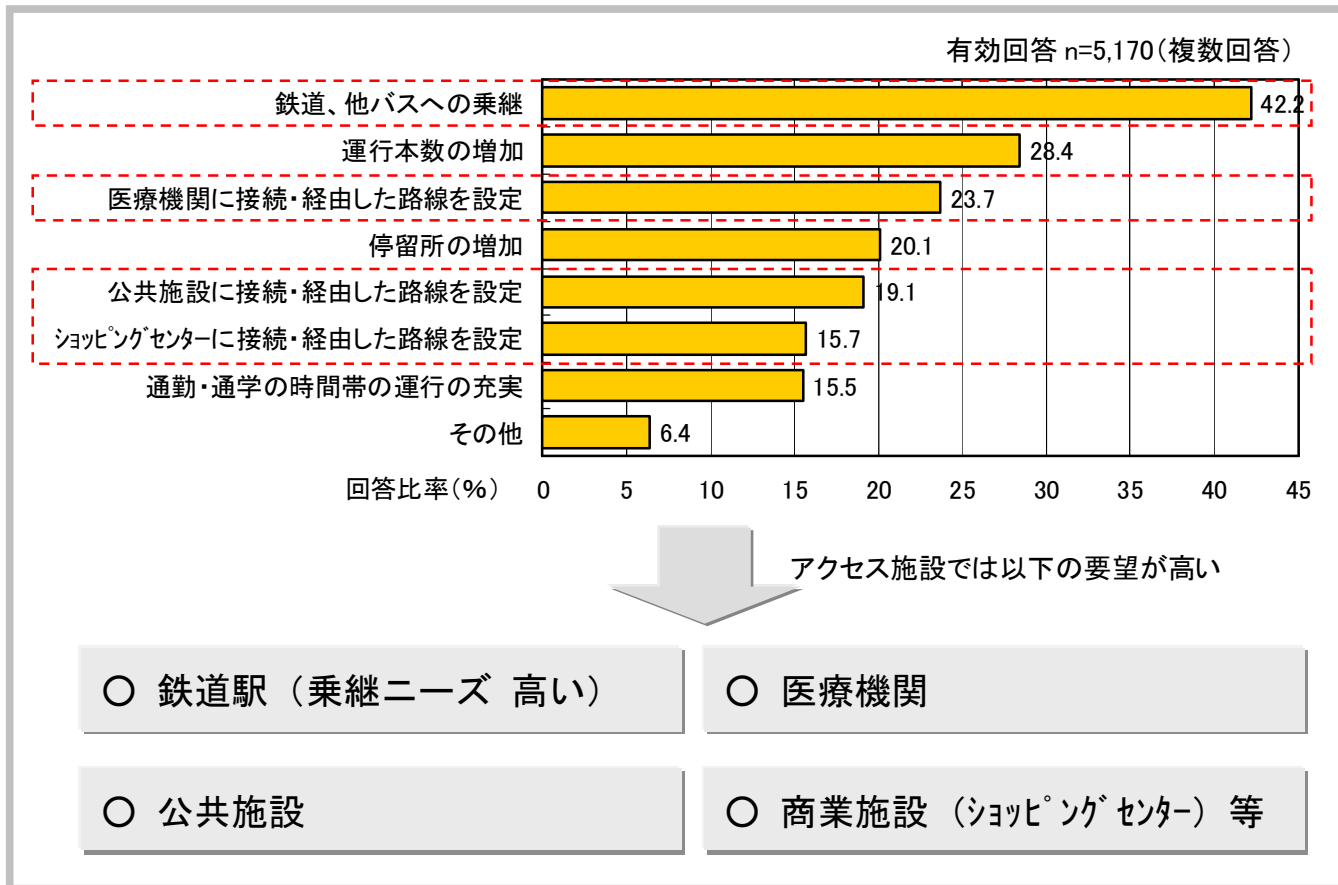
C 中央部・JR神領駅北側の下市場町や出川町など

※高齢者人口が少なく、ほぼ全域が神領駅の勢力圏に含まれるため、優先度は低い

視点2 アクセスニーズの高い施設を目的地に設定

○市民意識調査での「シティバスの利便性向上策」の設問において要望の高い、鉄道駅、医療機関、公共施設等の接続を検討。

※春日井市新長期ビジョン策定基礎調査での市民意識調査報告書より（平成18年6月実施）



視点3 住宅地と目的地を無駄なく結ぶ路線を設定

○利用者の利便性と運行効率性の観点から、住宅地や複数の目的地を無駄の無いように、以下の路線設置の考え方を踏まえて設定。

【経由する住宅地、目的地】

- 住宅地 ⇒ 公共交通空白地域にある住宅の密集する地域を中心
- 目的地 ⇒ 鉄道駅、医療機関など、視点2に挙げられる複数の施設

住宅地、目的地を無駄なく結ぶ路線

【路線設定の考え方】

- 路線延長は、15 km以内に設定
- 住宅地から目的地まで、できるだけ迂回しない路線を設定
- バス車両の走行が可能な幅員のある道路を路線として設定

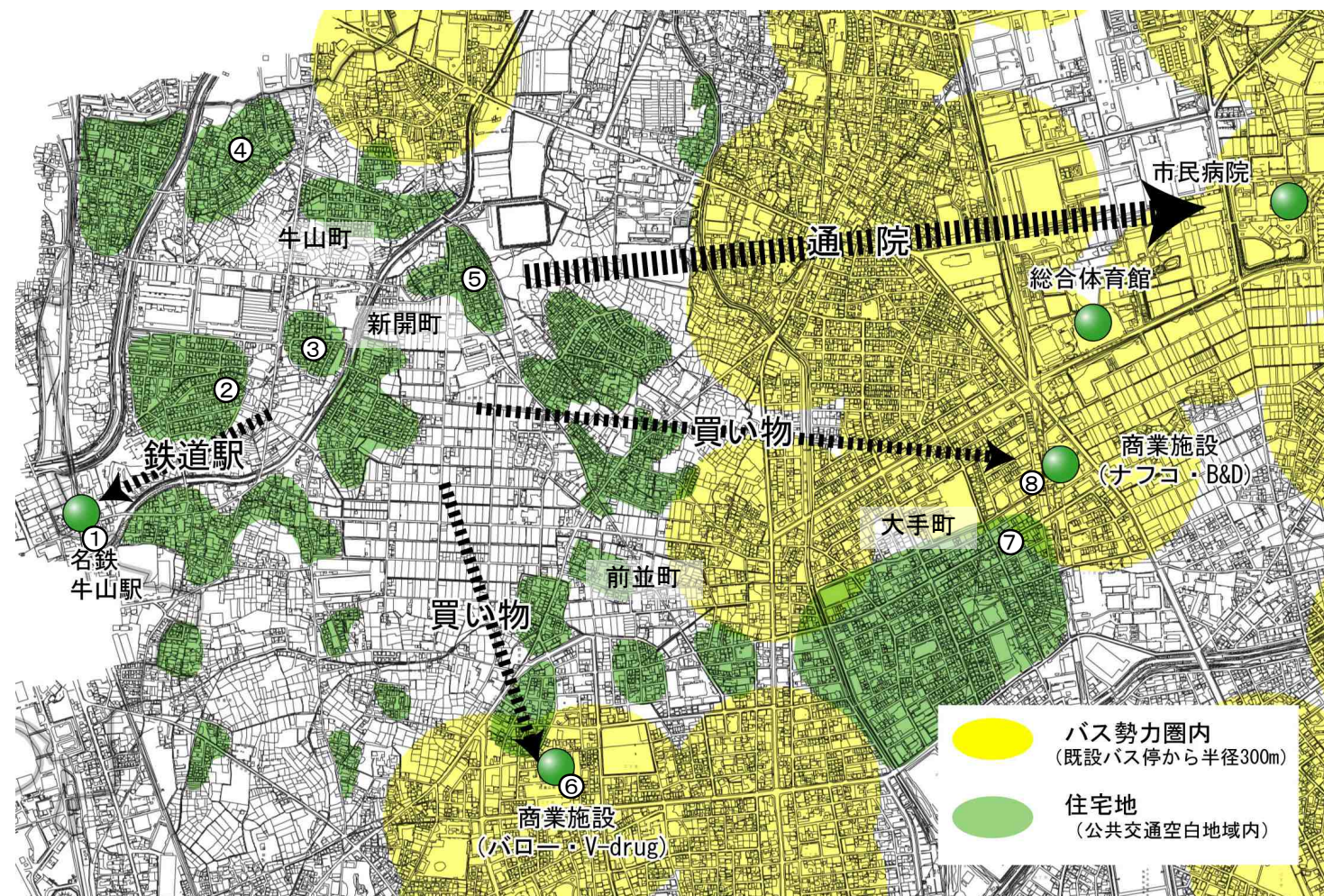
※道路幅員が十分でない場合は、小型バスより車両サイズの小さいワゴン型車両の導入を検討。

II-2 新規路線の設定案

A ①北西部（牛山町、新開町など）の特徴

地域の特徴

- （田畑の中に）住居の集まる住宅地が分散して立地
- 古くからの住宅地と比較的新しい住宅地が混在
- 公共交通空白地域内には商業施設・公共施設はない



①起終点となる名鉄牛山駅



②田畑に囲まれた集落（寺田台）



③比較的新しい住宅団地（さつき台）



④すれ違い困難な狭い道路（牛山地区）



⑤すれ違い困難な狭い道路（牛山地区）



⑥商業施設（パロー）



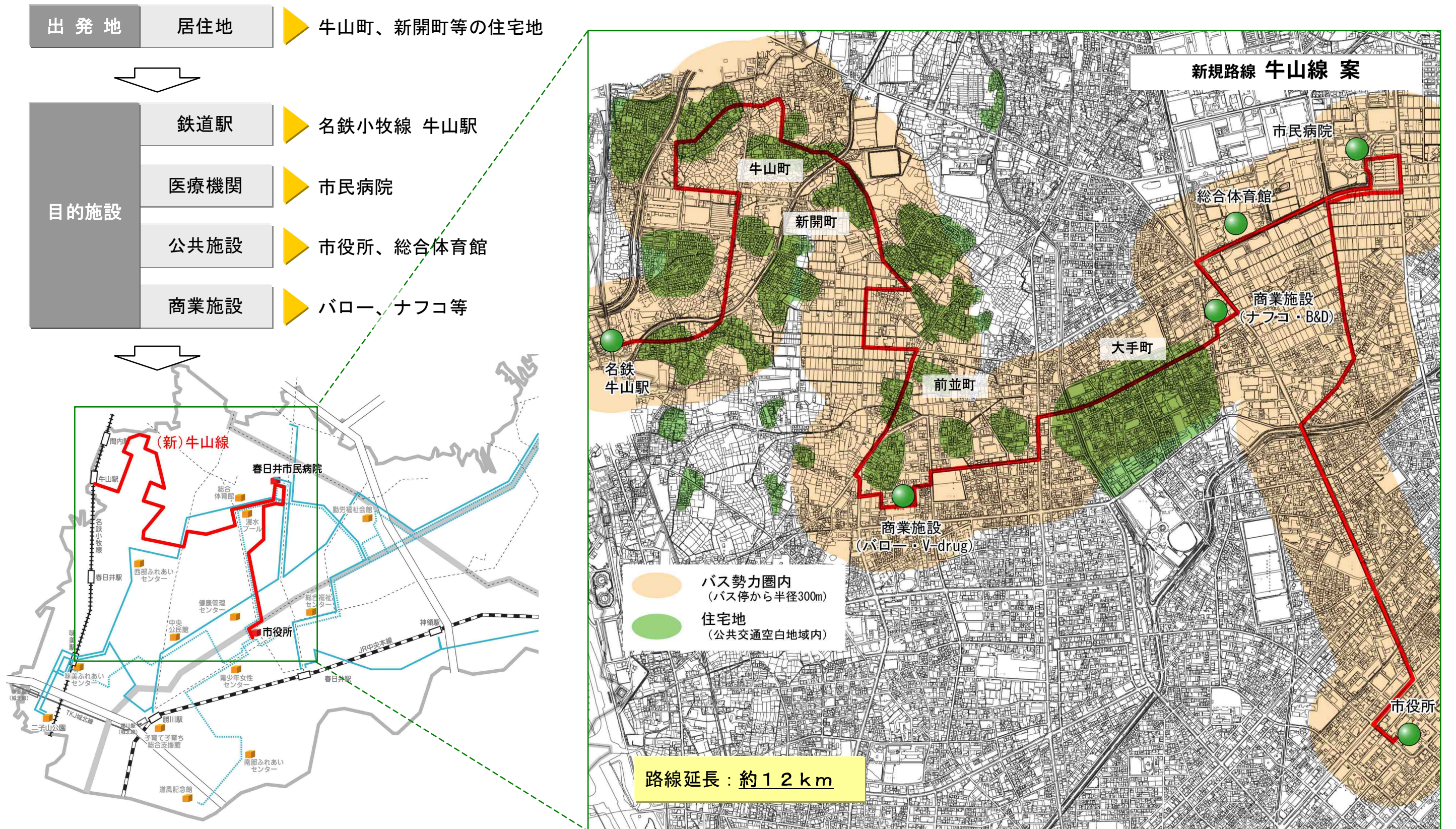
⑦沿道にアパート等が並ぶ（大手町）



⑧商業施設（ナフコ）

A ②新規路線 牛山線（仮称）の路線案

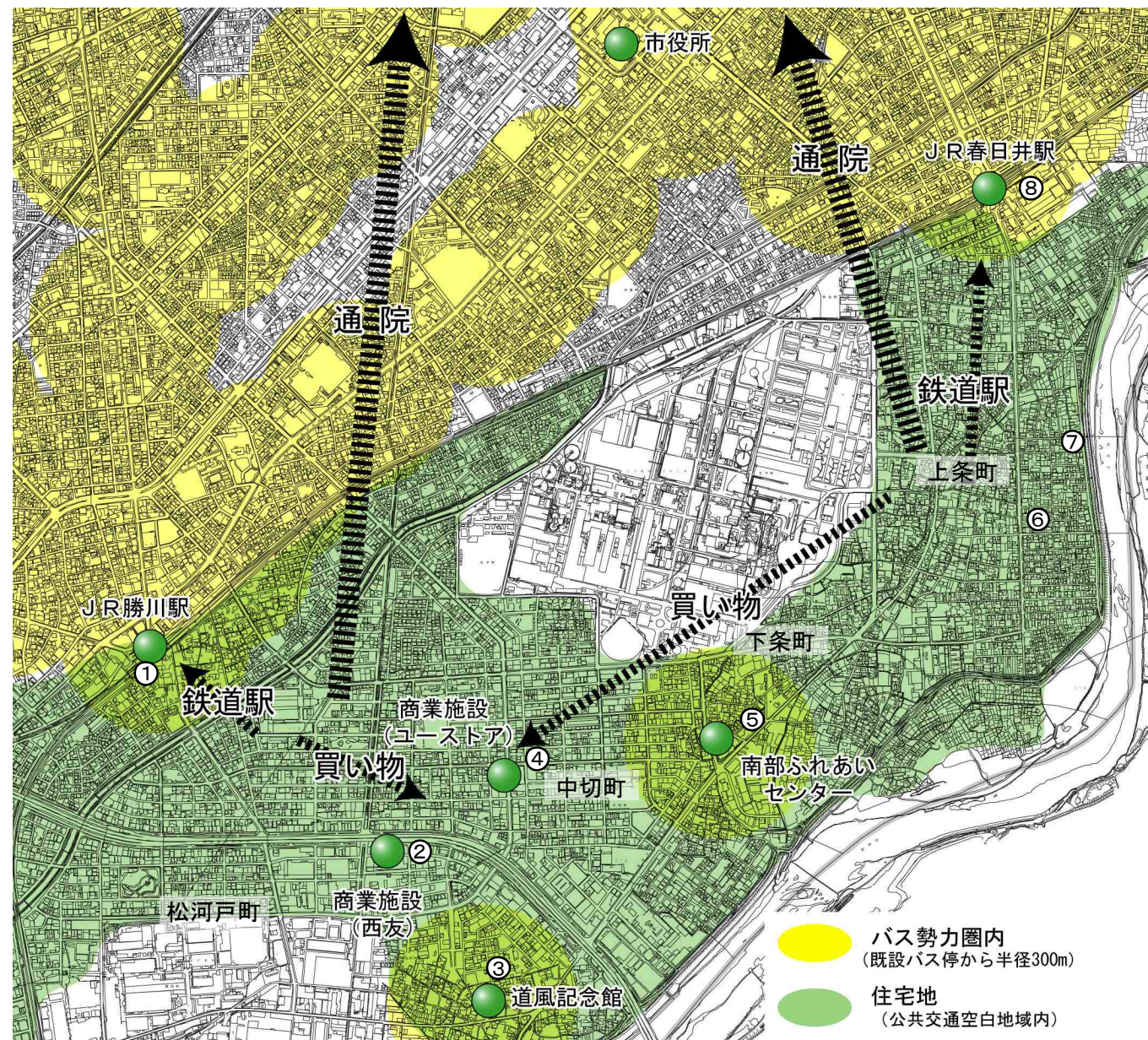
○路線設定の視点に従い、北西部の公共交通空白地域内の住宅地と目的施設を結ぶ路線を設定。



B ①南西部（上条町、松河戸町など）の特徴

地域の特徴

- 新旧含めて住宅が密集
- 上条町等の地区東側は、古くからの住宅が密集
- 公共交通空白地域内に商業施設はあるが、自家用車等でのアクセスに限られる



①起終点となるJR勝川駅 南口



②商業施設 (西友)



B ②新規路線 道風線（仮称）の路線案

○路線設定の視点に従い、南西部の公共交通空白地域内の住宅地と目的施設を結ぶ路線を設定。

